

翔鸞幼稚園だより

令和4年6月1日 京都市立翔鸞幼稚園 園長 村山得太朗

苗屋さんと地域が一つに!



花と野菜の苗屋さん、今年で30回目を迎えます。翔鸞幼稚園ではとても歴史と伝統のある行事で、地域の方、保護者の方の

ご協力のもと翔鸞公園での実施が新聞に掲載されたりしたこともありました。(新聞記事は園長室にあります。)この2年はコロナ禍で以前のような取組ができませんでしたが、今年度は、以前のように植替えの日や本番の日に地域の方にも協力していただく予定をしています。子どもたちは種をまいた後、毎日欠かさず水やりをして、芽も出てきました。当日までにたくさんの苗が育ってほしいと思っています。また、小学校の子どもたちにも参加してもらう予定です。子どもたちが育てた苗を地域の方、保護者の方、幼稚園や小学校の子どもたちが持ち帰って育てることで大きな絆が生まれるでしょう。



音楽付き絵本の読み聞かせ

&子育て語り合いサロン

6月6日には、プロの方によるフルートやピアノの生演奏をバックに絵本の読み聞かせ会を実施します。めったにない機会です。お楽しみに。そして、その後、子育て語り合いサロンを実施します。子育てでの工夫やコツなど、日ごろからされていることを話し合って有意義な時間になればいいなあと思っています。



6月の予定

- 2日(木)内科検診
6日(月)絵本の読み聞かせ(音楽つき)
子育て語り合いサロン
そら組 午前保育
7日(火)歯科検診
8日(水)そら組研究保育(午後保育)
きっずキラリミュージアム(御池ギャラリー)
9日(木)そら組 ポジティフィオルガン
(京都コンサートホール)
10日(金)そら組交通安全教室
給食試食会・弁当参観
15日(水)体重測定 ノーテレビ・ノーゲームデイ
月刊絵本
17日(木)耳鼻科検診
22日(水)花の苗屋さん
24日(金)にじ組そら組プール清掃
27日(月)プール開き
29日(水)誕生日会

7月の主な予定

- 1日(金)PTA家庭教育学級
～古森先生のご講演～
4日(月)そら組 スペシャル保育・
就学支援シート説明会
7日(木)七夕の集い
8日(金)幼稚園説明会
11日(月)そら組 プール参観・懇談
12日(火)にじ組 プール参観・懇談
13日(水)ひかり組 プール参観・懇談
15日(金)誕生日会
20日(水)終業式・そら組スペシャル保育

安全・安心な場所

先日、受講した研修より少し伝達させていただきます。幼稚園や学校は安全・安心な場所でなければなりません。そのためには、事件や事故が起こる前の危機管理（リスクマネジメント）がとても重要です。日常の生活場所や遊具などのチェックや園児への働きかけ（遊具が濡れているときは遊ばない、雨の日は床が滑りやすいので走らない、など）をしていくこと、そして、やっぱり、目を離さないように見守ること、これにつきます。子どもの成長を考えると少しできないようなことをチャレンジしてやっていかないと能力が伸びていきません。大人がいないときには、チャレンジしないようにお話しておくことも大切です。幼稚園では声を掛け合って、園児だけで遊んでいるときでも職員室や周辺から見守るようにしています。さて、問題です。右の図であぶないところはいくつあるでしょうか。

また、これから季節、熱中症も心配されます。先日寒冷紗を取り付け、日陰はできましたが、気温が上昇すると日陰でも危険です。赤白棒をかぶり、マスクを外すように指導していきたいと思います。このように、様々な危険を予測することが事件や事故を未然に防ぐ最も大切なことです。家庭の生活でも危険なところはないかチェックしてみてください。

次は、警察の方から交通安全と不審者対応についてお話を伺いました。幼児が事故に巻き込まれる場合は自動車や自転車に同乗していることが多いです。チャイルドシートにきちんと座らせることや自転車に乗せるときのヘルメット着用などがポイントです。そして、一人で外に出かけることはほとんどないと思いますが、やはり、飛び出しなどで事故にあうこともあるようです。横断歩道があればいいのですが、ないところを渡ることもあると思いま



す。合図横断（手を挙げ、運転者と目を合わせ、車がしっかりと止まってから渡る）ができるようにおうちでも交通ルールなどについてお話ししてほしいと思います。

最後に「こんなことが起こるわけがない」という想定外のことが実際には起こったりしています。「こんなことも起こるかもしれない」という風に想定内でとらえられるようにしていきたいものです。

親子製作・親子遠足

5月9日から3日間学年ごとに親子製作を行いました。竹ぼっくり、一本歯下駄、竹馬、子どもたちは出来上がりと早速挑戦し始めました。竹馬などは去年から見ていたり、兄や姉のもので練習していたりして、もう乗れるようになっている人もいます。それぞれがオリジナルな作品で、しかも、乗るだけで、五感や運動神経が発達します。急に上手になったりしませんが、毎日の努力が大切です。乗れるようになるまでの頑張りで非認知能力も高まります。みんなのチャレンジは続きます。



5月25日に実施しました親子遠足は、コロナ禍で3年ぶりの実施となりました。広くて安心できる環境の中、みんなで遊び、縦割りグループでポイントラリー、子どもたちや保護者同士の絆がより深まったと思います。ゴールのバラもとってもきれいででした。お忙しい中、ご参加ありがとうございました。



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう！

